

サービス体制

JRCSは、マリンオートメーションの専門店メーカーとして、
カスタマーサポートの専門部署を設けており、
ここを起点としてワールドワイドのサービスネットワークを
展開しております。2005年にはヨーロッパサービス事務所を
開設し、欧州地区におけるお客様のご要望に対しても万全の
体制で対応させていただきます。

また、故障を未然に防ぐため納入機器の定期点検整備も
行っており、お客様からのお問い合わせを心よりお待ちしております。



JRCS 株式会社 ミネアールシーエス

〈本社〉
〒750-8515 山口県下関市東大和町1-2-14
Tel: (0832) 61-0300(代) Fax: (0832) 61-0330
E-mail: jracs@jracs.co.jp
URL: <http://www.jracs.co.jp>

〈東京営業所〉
〒150-0036 東京都渋谷区南平台町13-15
Tel: (03) 3463-7841(代) Fax: (03) 5458-7485

JRCS 株式会社 日本無線電機サービス社

〈本社〉
〒750-8515 山口県下関市東大和町1-2-14
Tel: (0832) 61-0300(代) Fax: (0832) 61-0209
E-mail: jracs@jracs.co.jp
URL: <http://www.jracs.co.jp>

〈豊浦製作所〉
〒759-6301 山口県下関市豊浦町川棚字祇園田2155
Tel: (0837) 75-1100(代) Fax: (0837) 75-1105



システム換装



JRCS®

System Retrofitting

システム換装について

JRCSでは船舶のより一層の安全運航に貢献するため、船齢延長に伴う機器の延命措置としてシステム換装を取り扱っています。

現在ご使用中の機器において、

- ① 度重なるシステムの故障が起きる
- ② 保守部品が供給中止となった
- ③ 製造メーカーが船用部門から撤退している
- ④ 船齢延長により今後も継続して使用する必要が起きた

などの諸問題が発生した場合には、是非弊社にご相談ください。

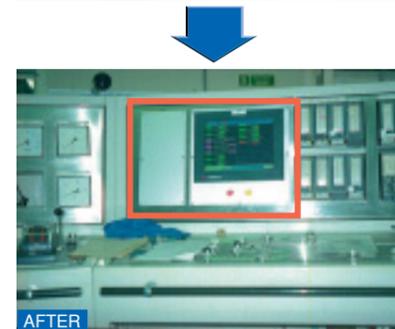
利点

- 最新のシステムを提供できます。
- メンテナンスの利便性が向上します。
- メンテナンス費用の低減が計れます。
- 世界の主要港において、サービスが受けられます。
- 安全運航に貢献します。

実績

JRCSは過去の燃料費高騰により、タービン船からディーゼル船への主機換装工事時、関連機器のシステム換装を数多く手がけました。そこでシステム換装のノウハウを蓄積し今日に至っています。熟練したサービス員がお客様のご要求されたシステムをご要求頂いた場所と工期で施行し、性能試験を行った後に引き渡しを行います。

ディーゼル船・タービン船、国内・国外、航行中・ドック中に至るまで数多くの換装実績があります。

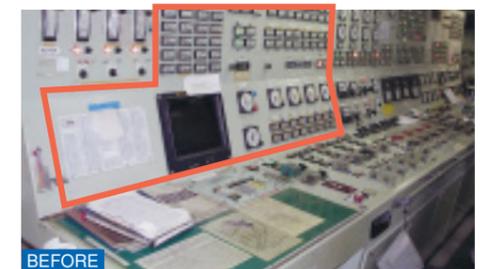


換装例 1. LNG船 アラーム & モニタリングシステムの換装

20年に渡り使用したアラーム&モニタリングシステムが必要なメンテナンスを受けられなくなり、換装を行いました。従来のセンサー、ケーブルや関係する機関部延長警報システムなどはそのまま流用し、定期ドックを利用し工期20日間で引き渡しを行いました。この工事は弊社海外サービスネットワークを通じて、サービス代理店のエンジニアが施工しました。

換装例 2. コンテナ船 データロガーシステムの換装

最新鋭の自動化船として就航した船に搭載された他社データロガーシステムをLCDタッチパネルを採用したアラーム&モニタリングシステムに換装しました。個別のアナシエータや表示灯を撤去し、2台のオペレーターステーションで集中監視を可能としました。撤去、取付、調整を含め外地の修繕ドックで、工期2週間で完了しました。



換装例 3. FPSO 発電機セットの増設

FPSO内の電力負荷の増加に伴い2台の発電機セットを増設しました。同時に発電機自動制御装置も2台用から4台用にアップグレードを行い、自動運転を可能にしました。

